脳神経外科

1. 診療科の特徴

当科は日本脳神経外科学会専門医訓練施設であり、救急疾患（脳卒中、頭部外傷）を中心に豊富な症例が経験できる。特に脳卒中診療には力を入れており、外科手術、脳血管内治療を含む総合的な診療を行う。脳腫瘍や小児疾患が多いことも特徴である。

2. 研修指導体制

●村井　望（部長）
専門領域　脳神経外科一般、脳血管障害
専門資格　日本脳神経外科学会専門医、日本脳卒中学会専門医

●河原崎　知（医長）
専門領域　脳神経外科一般
専門資格　日本脳神経外科学会専門医

●岡本　洋（医長）
専門領域　脳神経外科一般

●楊　涛（医員）　脳神経外科一般

3. 施設認定資格及び研修終了後に取得できる認定資格など

●日本脳神経外科学会専門医訓練施設（京都大学研修プログラム関連施設）
●日本脳卒中学会認定研修教育病院
それぞれの専門医受験資格のための研修実績が得られる。

脳神経外科専門医研修としては、京都大学研修プログラムに属することになり、当院では１～2年間の研修となる見込みである。日本脳神経血管内治療学会研修施設ではないが、直接専門医の指導を受けることができる。

4. 研修の一般的目標

日本脳神経外科学会専門医取得に必要な脳神経外科の基本的な知識，技能の習得を行う。

5. 具体的な研修到達目標

１年次
- 脳神経外科救急患者の初期対応ができる。
- 脳血管撮影の適応の判断と術者として実施できる。
- 穿頭術が術者として実施できる。

２年次
- 開頭術が術者として実施できる。
- 脳血管内治療の一部を担当する

３年次
- 脳内血腫除去術が術者として実施できる。
- 日本脳神経外科学会専門医の取得の準備ができる。

6. 診療実績、治験成績、疾患別症例数など（2010年度）

昨年度までスタッフは1名であったが今年度から4名に増員、救急はフルオープンされ、脳血管内治療も開始された。救急患者数、入院患者数は著明に増加しており、手術件数は150件／年まで増える見込みである。昨年度入院患者数：176名、手術件数：87件。

もともと脳動脈瘤、脳腫瘍手術の多い傾向にあるが、脳梗塞に対する脳血行再建術（CEA/CAS、EC/IC bypass）が急速に増加している。脳血管内治療は既に10例以上が施行されている。

7. 週間予定

	月	火	水	木	金
午前	外来/検査	回診	手術	神内カンファレンス 検査／病棟	救急カンファレンス 手術／病棟
午後	検査／病棟 術前カンファレンス	検査／病棟	手術	検査／病棟	手術／病棟

8. 論文・学会活動

■昨年度の学会発表

1） 藤本浩二、松下達夫、林英樹、戸田弘紀、渡邉充、斎木英資、高橋潤：外傷後振戦に対し視床脳深部刺激療法が有効であった1例：第61回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会（大阪）2011/4/1

2） 村井望、中原一郎、渡邉芳彦、福嶌浩、石橋良太、辻敬一、角本孝介、田中悠二郎：血栓溶解療法後、片側大脳半球に異常CT像を呈し、過灌流症候群と思われた一例：第36回日本脳卒中学会総会（京都）2011/7/30

3） 河原崎知、村井望、藤本浩二、堀川恭平：クリッピングに難渋した動脈瘤3症：第1回 Nara Kyoto Mt. Hiei Friendship conference（京都）2011/9/12